

SDGs 推進ネットワークでの活動事例報告（第1報）

Activity case report on SDGs promotion network (1st report)

愛知環境カウンセラー協会 多賀吉令(たがよしのり)

概要：岐阜県内における SDG s の推進は令和2年4月1日から岐阜県が主体となり県内の、企業や団体、NPO, 個人などが連携しネットワークをつくり普及啓発に取り組んでいる。令和2年7月17日には「SDG s 未来都市」として内閣府から岐阜県が選定された。垂井町栗原地区まちづくり協議会も7月に加入・登録しスタートさせた。少子化に伴い新たな活動の展開を進めていくために今後 SDG s を取り込んだESD活動を継続していくための方策についての考える必要が出てきた。垂井町まち・ひと・しごと「創生総合戦略」や第6次総合計画を基盤に地区の活性化をめざし、SDG s を取り組んだESDの活動展開について報告する。

キーワード：SDG s、ESD、垂井町まち・ひと・しごと「創生総合戦略」、第6次総合計画

1. はじめに

「清流の国ぎふ」SDG s 推進ネットワークに加入しマッチング支援により、10月23日セミナーを開催した。基本的なSDG s や方向性について指導していただき今後のまちづくり協議会の活動について見直し、方向性について考えてみた。

2. 垂井町栗原地区の状況と課題

栗原地区は垂井町の南端で養老町と隣接している。道路交通網として隣接する養老町に名神高速道路に養老スマートインターが設置され利便性はよくなったことに伴い大規模工場が進出し土地利用の需要が高まってきた。

一方近年高齢化により担い手不足や人口減少による小学校児童数の減少や空き家の増加が目立つようになってきている。そして昨今若者の人口流出も多くなり地区にとって幾多の課題がでてきている。

3. 栗原地区の豊かな資源

地区の西部には栗原山があり、関ヶ原合戦の長宗我部盛親陣跡や竹中半兵衛隠棲地や先人の培ってきた歴史的伝統文化（栗原踊り）や岐阜県指定の天然記念物（連理の榊）そして九十九坊跡等歴史的資源もあり地域の特色ある資源として活かしておくことが期待される。




4. まちづくり協議会における今までの活動

8年前に地区公民館運営からまちづくり協議会運営に変わり、今では社会教育（生涯教育）も含め自治会、健康福祉、防災等生活に関係するあらゆるセクションの活動も行われるようになってきた。小さい地区である故運動会は地区を交えた地域運動会として、学校や保育園、住民全ての運動会になっている。又、秋の八幡大社における栗原伝承おどりも地区の子どもや住民が一堂に踊りコミュニティを図れるいい面もある。

5. SDGs を取り組む新たな展開 ～現在の活動を継承しつつ～

SDG s を進めるに当たり、総会時に役員への説明をした上岐阜県SDG s 推進ネット

ワークを活用し、岐阜県の事務局にリクエストシートを下記の通り提出した。

事業名	自然環境の保全、継承と地域の活性化
主な目標	  
詳細	<p>【事業の概要】 基本段階として地域住民へのSDGsに対する啓発・啓蒙活動の展開 企業、各種団体、住民、学校、行政を交えた研修会やワークショップによる意識啓発・啓蒙運動を展開する</p> <p>【事業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを取り込んだ地域活動の展開 ・研修会により目標を達成できることができる人材の確保 <p>【事業の展開】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域を支援する人材育成と確保 ② 伝統文化と文化財の保全・育成 ③ 防災・減災に努め、安心・安全で継続して住み続けられる町 <p>【提案を求めたいサービス・アイデア等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本段階として、研修会やワークショップの実施（講師派遣） ・SDGs活動に対する事例活動の発表

6. 活動事例と今後の計画

SDGsセミナーや文化祭チャリティーに地元企業から参画していただき地区との連携を図ることができた。今後人口減少に伴い、地区防災・減災活動等いくつかの難題を打開するために住民、企業、行政との連携をさらに図り活動を進めていきたい。

SDGsセミナー



文化祭時のチャリティー



【参考文献】

1. 第2期 垂井町まち・ひと・しごと「創生総合戦略」2020～2024年及び垂井町第6次総合計画
2. 岐阜県「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワーク